



2016-2017年度 主題

国際会長 : Joan Wilson "Our Future Begins Today"  
 「我々の未来は、今日から始まる」  
 アジア会長 : Tung Ming Hsiao "Respect Y's Movement"  
 「ワイズ運動を尊重しよう」  
 東日本区理事 : 利根川恵子 「明日に向かって、今日働こう」  
 湘南・沖縄部長 : 若木一美 「あなたが退会しない理由は?」  
 ~明るく・楽しく・元氣よく~  
 クラブ会長 : 林 茂博 「仲良く、楽しく、無理をせず」  
 ~今日という日を大切に~



今月の聖句

「知らないのですか。あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。だから、自分の体で神の栄光を現しなさい。」

I コリント6:9-10

巻頭言

「ワイズソング」と「ワイズの信条」

クラブ会計 鈴木 茂

**横** 浜つづきクラブは12年前のチャーター以来、例会では必ず「ワイズソング」(ワイズメンの歌「いざ立て」)と「ワイズの信条」を唱和している。部長公式訪問などで部内各クラブを訪問した場合でも、湘南・沖縄部ではほとんどのクラブが例会でこの二つの唱和を実施している。そこで私は、全国どのクラブも同様であると考えていた。そして、これはやや形式的な儀式ではあっても、ワイズの趣旨と精神を会員の血肉に浸透させる手段として極めて有効であると考えてきた。



**と**ころがこの数年来、こうしたワイズの形式的な慣行に対して、宗教団体的あるいは軍隊的であるとして、抵抗する意見もあちこちで聞かれるようになった。特に、「ワイズソング」の歌詞の一節にある「手を挙げ」(We raise our hand)という文言と動作は、ヒトラーのナチズムを連想させるとして、嫌悪感を示す意見もある。そこで改めて「ワイズソング」に注目して見ると、曲となっているシベリウスの交響詩「フィンランディア」のメロデーはもちろん、ワイズメンズクラブ創設者ポール・アレキサンダーの作詞とされる歌詞「Once More We Stand」及び淵田多穂理訳詩とされる「いざ立て」のいずれも誠にすばらしく、謳えば謳うほど感動が心に響いてくる。もちろんアレキサンダーは、ナチスなどとは全く関係なく「手を挙げ」という歌詞文言を採用したであろうし、どのような手の挙げ方をせよとも指示していないので、私たちは自由にしぐさを選択すればよい。

**と**ころで私は、前東日本区ヒストリアン・吉田明弘さん執筆の「Historian's View」の愛読者で、吉田さんを通してワイズのことを随分勉強させていただいた。今回のテーマについてもそこで学んだことは、「ワイズソング」と「ワイズの信条」はともに、東西・日本区のクラブ例会等で一緒に唱和されているわけではないことである。つまりこれは、各クラブの自由な選択に任されていることであろう。とすれば、「ワイズは儀式的だ、軍隊的だ」とあまり目くじらをたてる必要はないことになる。

**し**かし、私のように教会で育てられ、毎週の礼拝で必ず「主の祈り」や「使徒信条」などを唱えてきたにも拘わらず、なお信仰がふらついている者にとっては、「ワイズソング」、「ワイズの信条」を毎月の例会プログラムに採り入れることは、ワイズの理念に対する理解を深めるためには、必要不可欠であるように思われる。

2017年6月例会プログラム

2017年6月本例会

日時:2017年6月23日18:30~

場所:かけはし都筑

受付:(報告書)今城宏子

司会:林 茂博

~プログラム~

開会点鐘 会長  
 ワイズソング・信条 一同  
 今月の聖句 相賀牧師

ゲスト・ビジター紹介 司会者  
 会長挨拶 会長

卓話(ムービー)約7分  
 「東日本大震災 被災後の報告」  
 スマイル 各自一年を振り返って

各種アピール

YMCA報告 山中担当主事

Happy Birthday  
 6月10日 横田孝久さん

閉会点鐘 会長

~~~~~  
 閉会后、1年間の奉仕に感謝する懇親会を「ガブリエル」で開催します。ご参加ください。

《特別寄稿》 年度最終号の発行にあたり、一年間、クラブ会長としてリーダーシップを発揮して頂いた林 茂博ワイズに、2016-2017年度を振り返っていただきました。ご自身にとっては、大変な一年間であったにもかかわらず、素晴らしいクラブ運営をされたことに改めて心よりの感謝を申し上げます。(編集子)

1年を振り返って

仲良く・楽しく・無理をせず ~今日という日を大切に~

林 茂博

辻直前会長のリーダーシップで10周年という実り多き節目の年を過ごし、私としては沼津・東京目黒・仙台・東京コスモスを経て、5クラブ目の会長を引き継ぎました。

年度初めには予想もしていなかった、入院・手術を1月に行い、年度後半はみなさんにご迷惑をおかけしましたが、幸い会員お一人お一人の活躍でクラブの活動は活発に行われましたことを、感謝いたします。

10年間に蓄積された活動は例年通り行われました。今年度に記録しておくべきことを、列挙いたします。

◇ブリテンエディターが今城高之さんとなり、ブリテン紙面が刷新され、東日本区の注目を集め好評でした。

◇みなさんでコツコツ努力した、プルタブ収集の成果として、7月1日アスタPCに車いす1台を贈呈することができました。次年度以降は、リサイクル機械の進化と市場の変化に伴い、クラブとしては徐々にこの活動を収束させる方向といたしました。

◇初代クラブ担当主事だった渡辺誠二さんが種をまかれた「災害ボランティアネットワーク」を前年10月に設立し、8月には「つづき防災フェア」を開催することができました。阪神淡路大震災以降、YMCAも注力し、熊本地震でもYMCAの活動が高く評価されました。YMCAサービスの一環として、この活動を継続したいと願っています。

◇横浜クラブと協働で、第1回横浜YMCA幼児チャリティーサッカー大会をスポンサーしました。今後も継続されるYMCAサービスの新しいプログラムとなるでしょう。

◇10周年記念事業の締めくくりとして、ブリテンの合本を制作しました。費用は社協の善意銀

行配分金6万円を受け支弁しました。厚さ約5センチの合本は、10年の歩みを感じさせる重みがありました。

◇足利・星野富弘美術館・足尾銅山・宇都宮の移動例会は、多くのゲストの参加があり、強行軍で疲れが出たという反省もありましたが、楽しい例会でした。

◇諸般の事情で11月1回だけとなりましたが、原町聖愛こども園を含め、新築のつばめの杜保育所とみやま荘を訪問することができました。TKBの誕生祝カードの仕事会が、毎月定例開催になったことも感謝です。毎月20枚以上のカードを手作りするのは、根気のいる作業ですが大変喜ばれておりますので、継続してくださることを期待しています。

◇胡麻尻さんの入会があり、東日本区大会で新入会員獲得努力賞を受賞しました。

◇辻 剛さんが、東日本区定款改訂委員会の委員長として活躍され、川越での年次代議員会で改訂案が承認されました。お働きに感謝いたします。

◇鈴木 茂さんが、次期東日本区監事に就任されました。

反省点としては、・下半期の活動が低迷したこと。・DBCの締結が出来なかったこと・東日本区への各種献金が、部から区へ送金されなかったことなどが挙げられ、次年度への課題引き継ぎとなります。

五つ目のクラブ会長を務めて、双六に例えればワイズ人生の上りにたどり着いた感じがします。このクラブが出来ていなかったら、私のワイズ生活は続けていられなかったでしょう。素晴らしいメンバーに囲まれて、一年が送れたことを、心から感謝いたします。(完)



前月のデータ (2017.5)

|      |     |        |     |       |       |         |
|------|-----|--------|-----|-------|-------|---------|
| 例会出席 | 15名 | 在籍会員数  | 21名 | 各種記録  | 前月    | 累計      |
| メンバー | 13名 | 月間出席数  | 18名 | 使用済切手 | 0g    | 60g     |
| ビジター | 1名  | メーキャップ | 5名  | プルタブ  | 0.6kg | 35.0kg  |
| ゲスト  | 1名  | 月間出席率  | 85% | スマイル  | 0円    | 80,692円 |

《開催報告》

5月度例会（富士山例会）報告

横田 孝久

時：2017年5月26日（金）～27日（土）  
 場所：富士山YMCA  
 グローバル・エコ・ビレッジ  
 受付・報告：横田 司会：今城T  
 出席者：今城T・H、岡崎、岡田K・M、久保、  
 鈴木K・S、辻Ts、林S、三木M  
 山中、横田  
 ゲスト：三木 紀昭・村田 彰宏（FEV館長）

～プログラム～

- ◇開会点鐘（平和の鐘）、ワイズソング、ワイズの信条に続いて、今月の聖句  
 ヨハネの福音書16・33が朗読され、ご都合で欠席となった相賀チャップレンに代わって、林会長が用意されたメッセージと祈禱を代読した。
- ◇ゲスト・ビジター紹介で三木・村田氏の紹介があった。
- ◇会長挨拶に続き、富士山YMCA館長の村田氏の卓話となった。
  - ・タイトル「富士山YMCA10周年—これからの展望」
  - ・現在で延べ87,000人の利用者になっている、予算的にも2016年度で7000万円で比較的順調に推移している。
  - ・年間的にはやはり夏場が最も利用率が高く、冬場もそれに続いている。利用者はYMCA会員、ワイズ関係の他、各幼稚園や学校関係、ボーイ・ガールスカウトや企業研修などに利用され、最近では結婚式にも利用され、独自の企画で評判であるとの事。
  - ・また、珍しいところではシクロス（自転車競技）や各企業のCMのロケにも利用されている。
  - ・利用者のアンケートにより、広々とした自然環境が大変魅力的でそれぞれのYMCAスピリットに感謝しているとの報告で、今後 మరి

ニューアルや新築施設を充実させて、完成度を高めて行きたいとのことであった。

- ◇各種アピール  
 北YMCA館長の山中さんより報告があり、40周年記念式の終了報告と6月4日（日）に40周年記念チャリティー・コンサートの案内があった。
- ◇林会長より都筑区社協関連の窓口として岡崎ワイズ、災害ボランティアの窓口として横田ワイズが就任したとの報告があった。
- ◇また、善意銀行よりの補助受けられる可能性があるとのことで、6月の事務例会時にそれぞれアイデアを持ち寄るよう依頼があった。
- ◇今城Hより6月6日のCOCOの集いのアピールがあった。
- ◇ハッピーバースデー  
 11日/岡崎、13日/生井、19日/三木N、20日/林M、21日/鈴木S、29日/相賀U

到着時間が早まったので予定より30分繰り上げて例会は閉会となった。入浴タイムなど自由時間を持ったが、その間にBBQの準備も始まり、いよいよお待ちかねのBBQ大パーティーです。

飲み物も十分あり、今回は肉類もふんだんにあり、それぞれ満腹、満足の時間を過ごせた。

その後、ホールに場所を変え、懇親会に移り歌声広場やカントリーアワーとなり、時間も忘れて互いに交流を深めた。

翌27日（土）は朝食、富士山をバックに写真を撮とり、午後から、他の会や会員総会などがあり、それぞれ目的地向かうことで二日間の例会は楽しい時間と共に閉会となった。（完）

☆富士山例会の様子は、4-5頁にフォトストーリーを、6-7頁に1部参加者の感想文を掲載しました。

《北YMCA報告》

館長 山中 奈子

5月は地域活動やイベントが多くある季節です。

5月20日（日）今年度初めて地域でのおまつり「らくらく市」にオルタナティブ事業として「輪投げやさん」を出店し、200名の参加をいただきました。「らくらく市」は地域の障がい者団体が中心となり、港北区での障がい者への偏見をなくしていこう！ということで始まったお祭りです。「YMCAで障がい者支援やっただんですね…」と言われることも多くあるので、それらを払拭すべくアピールをしてきました。商品販売出店の多い中、子どもたちを巻き込んだ「輪投げやさん」は大好評でした。元気なリーダーの声が最後まで響いていた

のが印象的でした。

5月27日（日）には、健康教育部特別プログラム「潮干狩りに行こう」が金沢区の「海の公園」で実施され、35名の子どもたちが参加しました。気温が30℃まで上がった暑い日でしたが、子どもたちは元気にあさりを掘っていました。たくさんのお土産をリーダーとともにお母さんに届けた子どもたちの顔は真っ黒に日焼けし、楽しい1日を過ごしたことがよくわかります。

これからも多くの子どもたちにたくさん体験ができるよう、多くのイベントを実施していきたいと思ひます。



つづきクラブ恒例「富士山例会」

フォトストーリー



2017年5月26-27日

@富士山YMCA

グローバルエコヴィレッジ

天候：雨→大雨→雨→（翌朝）晴れ



←昼過ぎに到着、「平和の鐘」による開会点鐘の後、開会礼拝、例会と続く。

→卓話は、当エコヴィレッジの村田館長に、エコヴィレッジの10年と今後の取り組みにつき語っていただく。



←今回のゲストは、三木ワイズのご主人、三木紀昭さん。以前お住いの千葉でワイズ経験あり。

→いよいよBBQ開始。折からの豪雨で、火の着きが悪く苦戦するも、手慣れたもので順調に料理開始。



Viva !  
BBQ



焼き方と飲み方(?)、どっちが得かな? どっちも結構。皆それぞれに食事やおしゃべりを楽しみました。外の豪雨を感じさせない、それは賑やかなひと時でした。



まだ、外は激しい風雨が続いていましたが、皆の楽しそうな満足顔をご覧ください。

何時もの通り、「さの萬」さんの食材は大変充実していて、当初はとても食べきれない、と思っていましたが、結果” Nothing left”よく喰らい良く飲んだBBQでした。

後列左から：辻Ts・林S・横田・久保・鈴木S・岡田K・今城T  
 中列左から：三木Na・鈴木K  
 前列左から：岡崎・三木No・山中の各ワイズとゲスト



おなかも膨れたら、場所を変えて、いよいよミュージック・タイム！  
 つづきクラブが誇る「久保ちゃんとマウンテンボーイズ」(仮称)の演奏にと移りました。聞いている人より演奏している人中心、と思われるものではありましたが、深夜に至るまでの楽しいひと時が流れました。もっとも、深夜には、バンドメンバーしか残っていませんでしたが…  
 なお、右は本誌がスクープした決定的な写真ですが、個人情報保護(?)の観点から、特別な措置を施しました、ハイ！



翌朝は、一転して素晴らしい好天に恵まれました。富士山も全貌を現し、昨夜の雨が嘘の様でした。「平和の鐘」もお天気の方が似合います。(了)



～参加者の感想文を次頁以降に掲載～

**2017年5月 富士山例会の感想**

岡田美和

毎年行われる富士山例会は私にとって大好きなひと時です。70代の若者たちが楽しく集うのです。富士山を目の前に自然に抱かれ、大いなるものまた自分を感じるときです。御殿場での若いころの自然教室を思い出す感謝のときでもあります。懇親BBQは大いに飲んで食べておしゃべりが楽しかったです。

恒例の懇親会、アトラクションはギターにハーモニカも加わり、キャンプソング・愛唱歌・フォークソングなど夢中になりました。本当に有意義な富士山例会でした。

**富士山例会の感想**

鈴木 茂

私どもの富士山例会の2週間前5月13日(土)、私は今城高之さんとともに富士山YMCA開設10周年感謝会に参加しました。雨の中ながら106名の関係者が集い、なかなかの盛況でした。

富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジは、横浜YMCAが長い間願いを求めてきた独自のキャンプ場取得という夢を実現したものでありました。YMCAキャンプは、青少年が自然環境に適應する能力を身に付け、グループ活動を通してリーダーシップの大切さを学ぶとともに、良き友を見出し、友情を深め、人格形成に必要な貴重な体験を提供することを目的としているものと思います。

つづきクラブがこうして毎年、富士山例会を開催することは、YMCAのキャンプ活動を理解し、これを支えるという意味で、ワイズの大切なYMCAサービスの一環としてとらえることができると考えられます。

**2017年5月 富士山例会の感想**

岡田勝美

懇親BBQはともかく、その後のアトラクションの盛り上がりはということなのか。夜も更けるのを忘れギターなどを奏で、皆で歌うのです。この場にいなかった人は想像もつかないでしょう。動画で観たらびっくりすることでしょう。この楽しさはワイズクラブの魅力でもあります。日付が変わって眠り、翌日にはYMCA総会へ駆けつけました。皆のファイトには脱帽です。

**富士山例会はいつもワクワク！**

今城宏子

今年は富士山が見えるかな～と雨模様の横浜を出発。三木ご夫妻の車に乗せて頂きルンルン気分。途中、「沼津駿河湾PA」で横田車の皆さんと昼食をとり一路富士山YMCAへ。新緑が雨に洗われて美しいこと！

午後3時には本例会が開始され、開会点鐘はなんと、林会長がホールの中から紐を引っ張って、引っ張って「平和の鐘」がカ～ン、カ～ンと鳴らされました。そのからくり一同大感激！

村田館長から映像による富士山YMCA10年の歩みと将来への展望を紹介頂き、この素晴らしいキャンプサイトがさらに多くの人々に愛され発展するようにとの思いが強くなりました。

土砂降りの雨の中、めげずにBBQ大会を多いに楽しみ、その後場所をホール内に戻しての「歌声広場」でさらに盛り上がり、TKBメンバーが退席した後も歌い続けた皆様、お疲れ様でした。若さ(!?)に圧倒されました。

翌朝は素晴らしい晴天。富士山が裾野までくっきりと姿を現し、グリーンチャペルからの眺めは感動的。今後の計画が予定通りに運び、素晴らしい礼拝の場所となりますように祈りました。来年のワクワクを楽しみに帰路へ。

**富士山例会に参加して**

岡崎さよ子

私には3回目となる富士山例会でした。雨模様の中、東名高速から新東名高速道路に入り、駿河湾を真正面に据えた、駿河湾沼津SAでのランチタイムも楽しみの一つである。雨上がりのキラキラと輝く海を、ガラス張りのレストランから眺めながら、名物の桜エビのかき揚げをいただくのも、これで3回目となる。ハイウェイにみる富士山はやはりどこから見ても圧巻である。名ドライバーの横田さんのおかげで、新緑と富士山を堪能させていただいている間に、富士山YMCAの入り口に到着。例会後のBBQの時にはたたきつける激しい雨に、どうなることかと思われたが、翌朝は見事に晴れ上がり、記念撮影もバッチリでした。夕食後のミニコンサートでは楽しく盛り上げて下さった皆様、どうもありがとうございました。今年も、皆様のおかげで楽しく富士山例会に参加させて頂いたことに感謝します。

**富士山例会に参加して**

三木直子

この度は主人共々参加させて戴き、感謝です。主人は久しぶりにワイズの雰囲気を感じ、最高に楽しかったようです。つづきクラブは、人間も、雰囲気もトップクラスだね! と感心しておりましたが、自分自身の入会はまだ無理のようです。そして富士山Yについては、ロケーションの素晴らしさに感動し、個人のロングステイへの十分な対応ができないか? チャペルを建設し自然の中で祈り黙想する場とできないか? キリスト教関係の本を寄贈したい人が多いので図書室ができないか? 食事をもっとおいしくできないか? など申しております。私自身もチャペル建設は一般の方々にとっても静かに神様を感じる場として嬉しいのでは、又、ユーオーディアの方々の演奏や証しを聞く、一泊チャペルコンサートツアー等如何かなど考えました。その他の感想として、雨風吹き込む中で楽しくバーベキューできたこと、また、二日目は美しい富士を仰ぎながら今城ご夫妻と自然散策できましたことなど大変幸せでした。

(次頁に続)

**富士山例会に参加して**

山中 奈子

昨年度は熊本震災支援に出てしまったため参加できなかった富士山例会…あれからもう1年か…と思う気持ちと、今年こそ！という楽しみな気持ちと合わせて参加させていただきました。おいしいBBQに舌鼓を打ち（久しぶりにおいしいお肉をいただき本当に満足！）

おいしいお酒をいただきました。特に横田さんとのファーストダンスは忘れることはできません。翌日、仕事のため早く出発したため、富士山と皆様との写真に写れなかったのが心残りですが…来年へ向けてこれからの1年間、頑張っていきたいと思えます。

**富士山Y例会**

久保 勝昭

5月26日は朝から本ぶりの雨であった。スーパー・サミットで岡田美和さんと待ち合わせ10時に富士山に向かって出発した。今回は車をハイブリットに替えたので何の心配もなかった。昨年は電気自動車で、場所に着くまでまったく安心出来なかった。自宅でフル充電していても海老名SA、足柄SAで急速充電をしたが現地に着いたら、ほぼ空であった。途中、勝美さんを身延線の富士宮駅で乗せ現地に着いた頃には雨もやんでいた。

今回、車を替えた事により、例会、卓話、懇親会に疲れもなく気持ち良い時間を過ごす事が出来ました。特にBBQのお肉の味は絶品でした。うたの時間も夜中の1時まで出来たこと来年も同じように出来たら・・・

**《特別報告》**

川越（埼玉県）で開催された本年の東日本区大会（第20回）に、当クラブより、7名が参加し、各地のクラブの方々との交流を楽しみました。区大会の様子を林会長が写真と共に寄せてくれたので紹介します。（編集子）

**第20回東日本区大会に参加して**

林 茂博

6月3～4日に川越で開催された東日本区大会に日帰り・通いで参加しました。会場のウェスタ川越は出来て3年という新しく、素晴らしい会場で参加者425名の大会には大きすぎるほどでした。

大会プログラムはスタンダードでしたが、一般公開されたいすみ鉄道社長鳥塚氏の講演が大変好評で、大会を盛り上げた好企画でした。

晩さん会では、「温故知人」のテーマに沿ってテーブル席次が複数のクラブメンバーが着席するよう工夫されていました。地ビール4種を含め、飲み物・食べ物も十分吟味された「おもてなし」に、みなさん満足され、楽しい懇親の時間を過ごすことができました。

前日の理事杯争奪ゴルフコンペで久保さんが優勝、東日本区の定款改訂で苦勞された辻 剛 定款改訂委員長が表彰式でプレゼンターの大役を勤められ、次期役員就任式では監事に鈴木 茂さんが就任され、要所にクラブメンバーの輝く存在があり、うれしく思いました。

少数メンバーのホストクラブを埼玉・所沢クラブがコ・ホストとして共に働いて助け、更には関東東部全体で支えた大会で、ワイズの絆を強く感じた運営でした。

バナーセレモニーでクラブ名を間違えられたり、部から区への各種献金が送金がなされなかったために、表彰一覧表の一部にクラブ名が掲載されなかったり、クラブ会長とすれば不本意で少し残念な大会でした。



《報告》

2017年クラブ事務例会

岡田 美和

6月事務例会（評価）報告

日時:6月13日（火）18:00~19:45

場所：田園都筑教会

出席者：今城 T・H、岡崎、岡田 K・M、久保、  
胡麻尻、鈴木 S・K、辻 T s、  
林 S・M、三木、福島、横田

ゲスト：高松満至さん

○開会・黙祷

○会長挨拶

○協議事項

- ・相賀チャプレンより、退会願いが提出されている。会長より再度慰留をお願いするが、かなわない場合でも繋がりを維持する方策を検討する。
- ・社協「善意銀行配分金」ができることとなり（6/26締切）都筑区内での活動等、諸条件を満たす事業で申請する。東日本被災地支援等は該当しない。例えば、調理ボラ、送迎ボラ、傾聴ボラ、災ボラ、みんなの家、アーモンド（学習支援・子ども食堂）等を対象とした申請を考える。特に、調理ボラは負担が多いので申請したい。
- ・「ふれあい助成金」よりYOU&Iコンサートに対し4万円が決定した。（6月末入金予定）
- ・会計決算見込みと次年度予算につき、鈴木会計担当（今期及び次期）より提案があり承認された。

○主要行事の確認・連絡・報告

- ・6/23の本例会は、司会が三木より林Sに変更。各CS活動の年間活動報告を担当者が

A4判1ページ以内似まとめる。口頭可

- ・誕生祝いの記念品につき、在庫がなくなったので調達する。
- ・6/24の第3回部評議会について  
出席者確認：今城直前部長、辻監事、今城副会長、岡田書記、鈴木会計、林会長
- ・7/28の本例会について  
金子部長の公式訪問を受ける（確認済み）

○報告事項

- 6/3-6/4 東日本区大会（川越）が開かれ25名参加。ゴルフ大会では久保ワイズが優勝。出席者は、今城 T、岡田 K・M、久保、鈴木 S、辻 T s、林 S の計8名。
- 6/4 北YMCA 40周年記念チャリティーコンサートが開催され、62名が参加。当クラブからは、岡田 K・M、久保、辻 T s、林 S、横田の6名が参加。
- 6/6にみんなの家の「COCOの集い」で映画鑑賞会があった。出席者は、今城 T、岡田 K・M、鈴木 K、福島の計5名
- 6/6のY-Y's協議会（当クラブが担当）が開催され、クラブからは今城 T・H、岡田 K・M、鈴木 S、林 S、山中の7名が出席。

○CS活動の確認・連絡（6月予定表参照）

傾聴ボラは7月にて中止する。アーモンド、調理ボラ、送迎ボラなど定例通り。

○その他

今回は林会長最後の事務例会でした。閉会後はゲストも交え中華料理（一心）でいつものように、大いに食べ飲み話が弾みました。

（完）

《特別報告》 横浜北YMCA 40周年記念チャリティーコンサート

（久保勝昭 記）

2017年6月4日（火）横浜北YMCA 3階スタジオで北YMCAと運営委員会共催のチャリティーコンサートが開かれた。今回は、かるてっとほしの子（星重昭先生、他）による弦楽四重奏で数々のクラシックの名曲が披露された。最後にうたごえ広場で夏は来ぬ、夏の思い出をかるてっとの演奏で合唱した。日曜日のPM3時開演という事もあり、参加人数が心配されたが、67名の参加がありスタジオもほぼ満席状態であった。参加費、43,100円は全額東日本大震災の義援金にあてられた。



編集後記

何かと忙しかったこのひと月のせいか、盛り沢山の内容となつてしまった。六頁建てを指すが、なかなか思うようにはならない。▽毎回の士山例会は盛り上がった。参加できなかったメンバ―が6名もいたのは残念だったが、次回は全員参加を目指したい。▽いよいよ今期最後のブリテンとなった。次期からは気分を一新し、楽しんでいただけるブリテン作りを目指したい。これからも、どうかよろしくお願いします。（編集子）